

信州の地酒（日本酒）における知財支援

（「地域知財活性化行動計画」に基づく「都道府県の特徴を踏まえた平成31年度までの目標」達成のために）

長野県知財総合支援窓口 久保 順一

1. はじめに

特許庁は、各地域・自治体の特徴を踏まえて、地域・中小企業に対する支援策をよりきめ細やかに実施するため、「都道府県の特徴を踏まえた平成31年度までの目標」を取りまとめました。（平成29年12月、新聞にも掲載されました。）

長野県の目標項目を抜粋して以下に記載します。

- ① 産業施策に連動した目標（長野県ものづくり産業振興戦略プランの展開を支援）
- ② 金融機関との連携（セミナー開催と、協力・連携）
- ③ 知財活用（事例集の作成と活用）
- ④ 農・水産業分野（商標（地域団体商標を含む）や地理的表示（GI）保護制度の活用によりブランド化の啓発・推進）
- ⑤ 信州の地酒（日本酒、ワイン等）の普及促進
- ⑥ その他（セミナー開催による特許制度の普及・啓発）

本稿では、これらのうち、⑤信州の地酒（日本酒、ワイン等）の普及促進をとりあげて説明します。

なお、他の項目についても、今後、漸次検討を行う予定です。

2. 日本酒について

信州では、水、空気等の自然と米に恵まれ、日本酒造りに最適な諸条件を満たしており、おいしい清酒が多く蔵元で作られていると云われています。

そこで、長野県酒造組合がホームページで公開している蔵元紹介に基づいて、蔵元ごとの商標調査を行いました。

(1) 長野県には80場の蔵元があります。地域別にみると、中野エリア8、長野エリア14、上田エリア7、佐久エリア13、北安曇エリア5、松本エリア11、諏訪エリア9、伊那エリア8、飯田エリア1、木曾エリア4です。

(2) この80場の蔵元それぞれの商標登録件数を調査し、まとめると以下のデータが得られます。

- ① 全県で705件の商標登録がなされており、諏訪エリアが311件／44.1%を占めています。他は佐久エリア77件／10.9%、長野エリア67件／9.5%と大きな差があります。（表1参照）

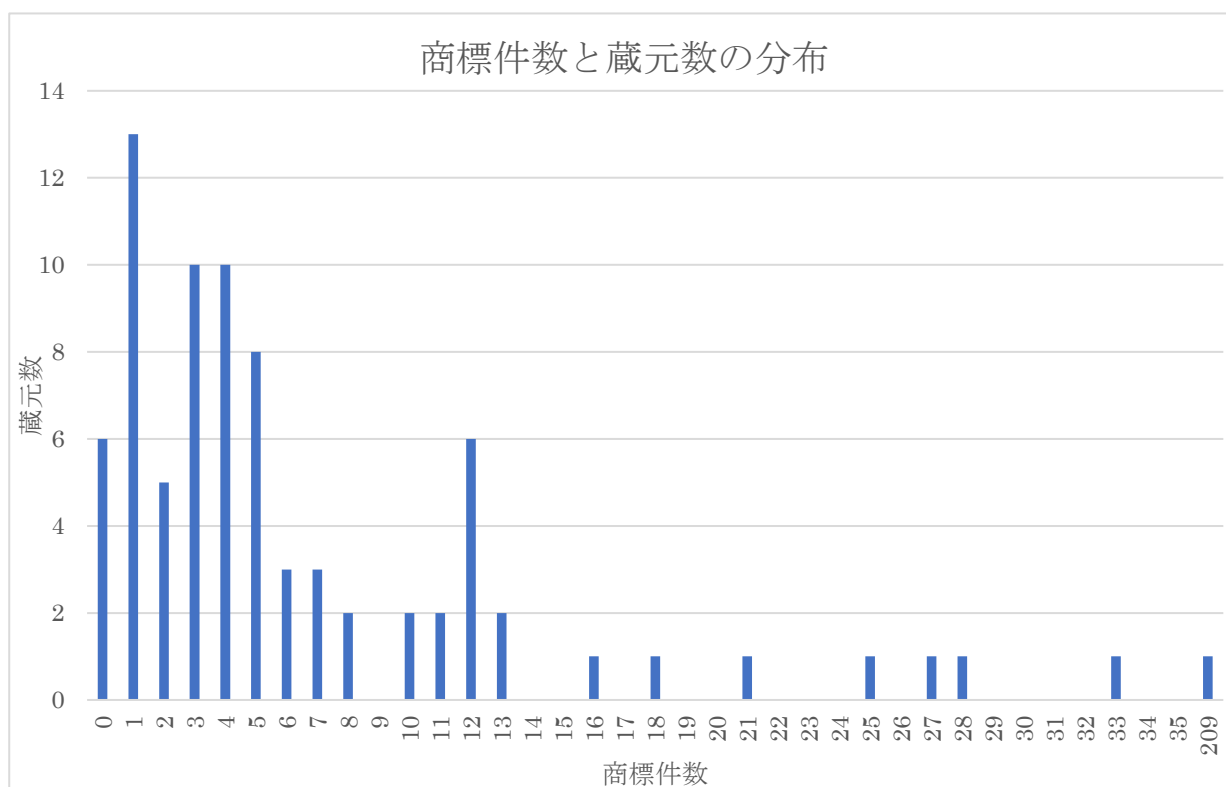
表 1. 長野県内のエリアと、商標登録数

	全県 合計	中野 エリア	長野 エリア	上田 エリア	佐久 エリア	北安曇 エリア	松本 エリア	諏訪 エリア	伊那 エリア	飯田 エリア	木曾 エリア
蔵元数	80	8	14	7	13	5	11	9	8	1	4
商標件数	705	26	67	33	77	39	29	311	47	33	43
蔵元数比率	100	10.0	17.5	8.8	16.3	6.0	13.8	11.3	10.0	1.3	5.0
商標件数比率	100	3.7	9.5	4.7	10.9	5.5	4.1	44.1	6.7	4.7	4.3

② 次に、商標登録件数と蔵元数の関係をまとめました。(表 2)

10 件以下の蔵元が 78%、20 件以下が 93%、30 件以下が 98% でした。特に 5 件以下は 65% であり、大半は商標登録件数が少数であることを示しています。中でも、登録商標を保有しない蔵元が 6 場あります。

表 2. 商標登録件数と蔵元数



③ 蔵元別の商標登録件数を、多い順に 10 場まとめました。(表 3)

第 1 位の宮坂醸造(株)が 209 件、第 2 位の喜久水酒造(株)が 33 件であることから分かるように、宮坂醸造(株)が圧倒的に多く、全体の 30% を占めています。これにより諏訪エリアの件数と比率を押し上げています。

表 3. 蔵元別商標登録件数（多い順 10場）

蔵元名	商標登録件数	住所
宮坂醸造（株）	209	諏訪市
喜久水酒造（株）	33	飯田市
諏訪大津屋本家酒造（株）	28	茅野市
七笑酒造（株）	27	木曾町
（資）宮島酒店	25	伊那市
伊東酒造（株）	22	諏訪市
（株）豊島屋	21	岡谷市
信州銘醸（株）	16	上田市
千曲錦酒造（株）	13	佐久市
（株）薄井酒造店	13	大町市

注：宮坂醸造（株）の商標登録件数は2020年2月現在114件

（3）蔵元の歴史

長野県の清酒醸造の歴史は古いとされています。そこで、登録時期の古い順から10銘柄を抽出しました。（表4）

最も古い「千曲錦」は、1908年、即ち明治41年で110年前です。以降も、他の銘柄で県内から連続して登録されています。商標法が制定されたのが明治32年ですので、長野県内で古くから清酒醸造が行われていたことを示しています。

表 4. 商標登録時期（古い順 10場）

登録商標	登録年月	蔵元名	住所
千曲錦	1908.7	千曲錦酒造（株）	佐久市
白金	1909.11	（株）枅一市村酒造店	小布施町
尾松∞正宗	1910.6	（株）高橋助作酒造店	信濃町
亀齢	1911.5	岡崎酒造（株）	上田市
喜久水	1912.12	喜久水酒造（株）	飯田市
宝ヶ池正宗	1914.7	酒井銘醸（株）	千曲市
白馬錦	1916.5	（株）薄井酒造店	大町市
正宗∞真澄	1917.6	宮坂醸造	諏訪市
七笑	1918.12	七笑酒造（株）	木曾町
井乃頭	1921.5	漆戸醸造（株）	伊那市

4. まとめ

以上、J-PlatPat（特許情報データベース）等によってデータを収集し、本稿にまとめました。

現状では、J-PlatPat から得られる情報が基本になり、市場での具体的な情報や動向は把握しきれていない状況にあります。今後、関係各位の協力を得ながら、各蔵元等に合った支援方法を模索し、啓発や支援活動に努めたいと考えます。

また、ワイナリーは飛躍的に増加しています。ワイナリーについても同様に積極支援を行う予定です。

以上

（原稿作成 2018年4月）